

寺尾天台自治会第四区だより

～区民の交流、地域の備え、将来への継続～



第4号
発行日：令和4年1月1日
四区会員数：525世帯
編集・構成：広報委員会

寺尾天台



ご挨拶

区民の皆様、令和3年4月に3期目を担わせて頂いております区長の中原です。区民の皆様には日頃より自治会活動にご理解、お力添えをいただき役員を代表いたしまして心より感謝申し上げます。

令和3年度も新型コロナウイルス感染の第4波・第5波により全国的に感染拡大が止まらず、市内でも多くの感染者がでてました。イベント自粛の中、四区の事業においても感染予防の観点から自粛をせざるを得ない状況でしたが、お楽しみ抽選会は行わせていただきました。区内の企業様に賞品のご提供いただき、区民の皆様は大変喜んでいただきました。区民を代表し感謝申し上げます。例年であれば、盛大に長寿をお祝いする敬老会ですが、自粛により寂しく、心苦しい気持ちになります。ささやかですが記念品を贈り、お祝いとさせていただきます。事業の自粛・中止が続いていますが区民の皆様には大変なご不便をおかけしております。どうかご理解いただき、皆様のお力添えをいただければ幸いです。最後になりますが、年明けには報道等で第6波等が懸念されております。引き続き感染予防対策をとっていただき「感染しない」「感染させない」を徹底し、来年も健康でお体にご自愛いただき区民の皆様一人一人が笑顔になるよい年でありますことを願い、ご挨拶といたします。



寺尾天台四区紹介の動画



PR動画も
チェック！

備

～冬の「第6波」を見据えたコロナ禍に対する備えを～

令和2年1月16日に日本国内で初の新型コロナウイルス感染者が確認されました。コロナ波と呼ばれる第1波が4月、第2波が8月に確認され、令和3年になっても第3波が1月、第4波が5月、特に8月の第5波では全国で1日に2万5千人を超える日が数日あり、綾瀬市内においても1日に25人を超える日が数日ありました。その後、感染対策やワクチン接種の効果で感染者数は激減の兆候がみられましたが、今後も第6波に対する感染対策の備えを、区民の皆様と共にしっかりとおこなひましょう。

又、地震や台風等の災害対策についても、令和3年度の自治会防災訓練等は中止となりましたが、各自で身の回りの備えや普段から災害対策のこころがけと準備をしっかりとおこなひたいものです。

尚、寺尾天台自治会第四区ホームページにも防災に関して情報提供(綾瀬市ホームページのリンク)していますので、ご参考ください。

(情報提供は、避難場所、あやせ安全・安心メール登録方法、防災行政用無線の貸出し方法です。)



全国のコロナウイルス感染者数

出典元 朝日デジタル 2021/11/4

知

～四区の地域活動を「知る」ことにより持続し、助け合いの気持ちが生みれます～



お楽しみ抽選会

夏祭り盆踊り大会は中止の為、お楽しみ抽選会を行いました。新たに協賛賞も加え、244名の当選がありました。当選、おめでとうございます！



地域行事への協力

7月に幼稚園での夕涼み会で使用するやぐらの組み立てを行いました。裏方として体育委員のメンバーや有志の皆さんの協力がありました。久しぶりに園児の楽しい笑い声や楽しいおしゃべりを聞くことができました。



ルール違反です！

ゴミ集積所でのゴミの出し方のマナー違反が続いています。10月に老朽化した集積所の網の交換を行いました。



コロナ禍での清掃

5月、8月、10月に区民会館裏山及び公園・釜田緑地を体育委員、有志、役員により、感染対策を行いながら除草作業を行い、とても奇麗になりました。

楽

～安全・防災の備えや地域交流を「楽しむ」です～

新型コロナ感染症予防により、計画されていた行事の中止・自粛が求められました。

中止

- 春季レクリエーション大会
- 春の美化キャンペーン
- 夏祭り盆踊り大会(お楽しみ抽選会実施)
- 敬老会(記念品のみ配布)
- 秋季レクリエーション大会
- 子ども神輿
- 秋の美化キャンペーン

開催予定

- 1月9日(予定) どんと焼き



伝

～身近な情報をホームページや動画で「伝える」です～

四区ホームページは試用も含め、約4年が経過し、ブログ更新は130回を超えました。また、多くのアクセスと訪問者をかぞえています。アクセスを分析するとお知らせブログ、ごみ関係、防災に関心があるようです。また、YouTube動画でも身近な情報をお伝えしていきます。

四区ホームページの利用状況 2018年1月～2021年10月

- 累計ページ閲覧数 33,685ページ
- 累計訪問者 21,989人

寺尾天台自治会四区のホームページにバナー広告掲載しませんか！



PR動画でもご紹介しています。

編集後記

街並みの景色が少しづつ変わってきました。新しい家々。町の緩やかな発展と超高齢化社会の到来。2022年の壬寅、冬を越え、芽吹き、以前の活気が戻ることを願うばかりです。広報委員長 永田

